

R18
FOR ADULT ONLY

LoveLoveLove

THE LEGEND OF HEROES / SEN NO KISEKI II & AO NO KISEKI
C.A. T/KurumiMorisaki





ただいま

110
A
110



疲れたあ

なんか最近
仕事量が増えてる
気がするわ...



ある意味
怪物よね

しかし：私より遙かに
多い仕事を難なくこなす
母様のバイタリティーって
一体どうなってるのかしら...?



それだ.....



ダメダメっ！
この程度で弱音
なんか吐いて
らんない！

いつまでたっても
母様を見返えせ
ないわ！

ホッスッ!



あなたも
頑張ってるん
だものね



でも……
やっぱり
逢いたい

忙しきで粉れでも
寂しきは拭えない
ものよね……

はい
アリサです

ん？



——アリサ
俺……リイン
だけど……

リイン……!?



ラインー!!



仕方ないわ
あなたと
ヴァリマールは
有名なもの
人目につくお屋敷でしよ

ヴァリマールも
久しぶりね



びっくりしたわ
本当に
来ていたのね

すまないアリス
こんな所に
呼び出して



…それよりリイン
突然どうしたの？
それもこんな
時間に……

任務で黒竜関に
来ていたんだ



準契約者ノ
波長ヲ確認

アリサヨ
壮健ソウデ
ナニヨリダ

ふふ…名前を
呼んでくれて
嬉しいわ



—アリサ



なかなか時間が
取れなくて
こんな時間に
なつてさ…

ヴァリマール
俺はアリサと話が
あるから少し
休んでいてくれ

—承知シタ
用ガ済ンダラ
声ヲカケルガイイ



ライン…!?

ど…
どうしたの?



すまない……
暫くこうさせて
くれないか……



私達が学院を去って
ラインに変わって
しまった事がある

いいわ
好きなだけ
こうしていて

元々内に
抱える人では
あるけど……

リインは抱えた
苦しみを口に
出さなくなつた

だけど
私は聞かない……

リインがそれを
望んでいないから……

えっと……
ありがとう
アリサ

あら……
もう良いの？

ごめんもう
おなまをなな

え……？

こうして抱き
ついてるだけで
満足かってこと

これで止めたら
私は満足どころか
欲求不満に火が
着いちやうわよ？



アリサ…なんか
だんだん大胆に
なっていくな

だってあなたと
過ごせる限られた
時間の中で
最大の愛情を
感じたいもの

リン：
あなたは
どうなの？

さっき言っただろ？
限られた時間を
最大限に活かして
逢いに来たんだ



それじゃあ
二人の時間は
大事にしないと…ね



あ

ん

ん



リィン…あの
やっぱり外は…
家に行かない…？

大丈夫ここは
人目に付かない
窪地だから

そういえば…
アンゼリカ先輩が
決起した場所
だったっけ…



それに大分
欲求不満に
火が着いてる
みたいだし

も…も…



リィンだって
欲求不満
みたいだけど？

そ…それは
否定はしない…

それなら早く
繋がるべき
かしらね…♡





アッ...
アッ...

アッ...
アッ...

アッ...
アッ...

アッ...
アッ...

アッ...
アッ...







アハハハ...

アハハハ...
アハハハ...
アハハハ...

アハハハ...

アハハハ...

アハハハ...

アハハハ...

アハハハ...

……えーつと
アリサ……
なんで膝枕？

いいじゃない
こういうのも
悪く無いでしょ？

——ルーレは
街明かりが
強いのに意外に
星が見えるんだな

そうね……今日は
比較的綺麗に
見えてるけど

でもやっぱりノルドで
見た星空に比べたら
見劣りするわね

ああ……
ノルドの星空は……
格別……だった……
な……

それはまあ……
嬉しいわ



——リインハ
常二疲勞度ノ數値が
高イ値ヲ示シテイル

休息方必要タガ
リインニハ自覺ガ
無イヨウダ

ヴァリマール...



.....リイン?
生きてる?...



リインの置かれた
状況が解らない
事が辛い.....

側で支えて
あげられない
事が辛い.....

そう...やっぱり
大分無理を
しているようね...

でも学園を去ってまで
見定めたこの道を
道半ばで投げ出す
訳にはいかない

だから.....



孤独で寂しい
場所でも
あるけれど

何よりも
頼もしい
存在でもある
あなたになら……

ヴァリマール
お願いがあるの

リインを
守って

……今は側に
居られない
私の代わりに

起動者八我ト
一心同体デモアル
任セルガイイ



所ア——

先刻ソナタ達ノ
心拍方異常ナ
値ヲ示スト共ニ
身体ノ一部ヲ結合
シテイタヨウダガ

人ハ合体スル
モノナノカ？

あー！
あなたは少し
気を利かせる事を
覚えてちょうだい！



今回のマンガは話の作り上、
アリス、エリィ、ミレイユ共に衣装は
殆どオリジナルです。
二次創作は公式以外の衣装(オリジナル)で描くと
「誰これ？」になるリスクがあるので、
ホントは避けたい所だけど、考えてた話の関係もあるし
ここはあえてチャレンジ。
一応それぞれキャライメージを意識しつつ
描いてみました。
でもやっぱりセンスが問われる部分だから難しい…。

今回のマンガを描くにあたり、
時間軸の流れを考え衣装も夏服に
した方がよさそうだなあ…と言う事で、
衣装はオリジナルで描きました。
←はデザインの参照用に描いたアリス。

表紙用…だったけど没図案。
まあ夏なので水着エリィさんを
描いてみたかったのです。





——ロイド



エリイ……

うん……何故かね……
体はかなり疲れて
るんだけどさ

ふふ……実は
私もそうなの

ひょっとして
みんなも？

眠れない？





その……私達の
これからは……
どうなる……の……？





おれ……

そうだね……
エリイが許して
くれるなら
このまま俺の
部屋にエスコート
してもいいかな？



——は



ドキ

ドキ



こ……こんな
状況で断れる
とでも……？

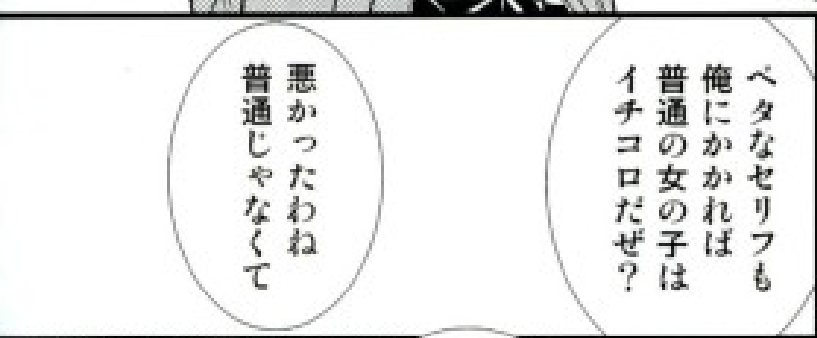


——じゃあ……
いいんだね……？



その
美しい
お嬢さん

俺に一杯
奢らせてもらえ
ませんか？



ベタなセリフも
俺にかかれば
普通の女の子は
イチコロだぜ？

悪かったわね
普通じゃなくて



もう……
ランディ

貴方のナンバ
ワンバターンよ

そーかあ？



でもまあ……
俺には普通じや
ない女の方が
合うけどな

カァン

!!

3m



ほらミレイユ
俺の
とっておきだ

クロスベル最大の
危機を乗り越えた
祝いと行こうぜ



……っ！
ラ……ランディイ!?
そ……それって

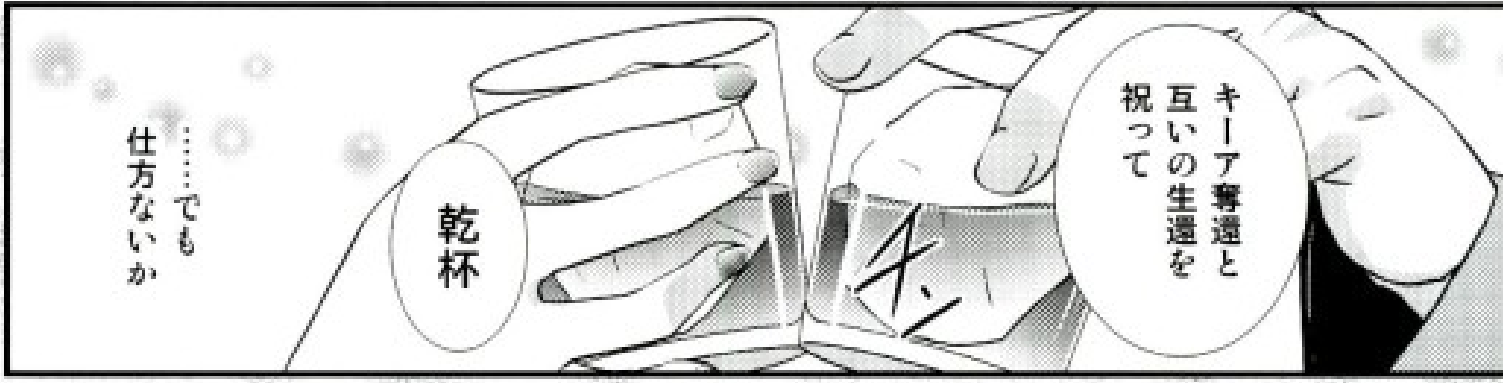
マスター
俺のボトル
出してくれ

ああ……
待ってろ

ハッ



まったく……
また
誤魔化された……



キーア奪還と
互いの生還を
祝って

乾杯

……でも
仕方ないか



この人は多分

特定の誰かを
愛する事から
逃げている……

それはきっと
彼の過去に関係
しているのだろう

私はランディイの
過去なんて
知らないけど

過去はどうあれ
私の彼に対する
信頼は本物だ



おいおい…
こんな所で
寝るなよ



—ミレイユ?

いえ……
この想いは
信頼じゃない…

私は彼を……



潜伏生活に
赤い星座との
激闘じゃ
仕方ねーか…



ともかく…
ボサつと
飲んでないで
彼女を何処かで
休ませてやれ

何処かって
何処だよ?



お前だって
相当な激戦して
来たんだらう?

はは…俺は
慣れてっからな



ランディ…お前なあ
自分が大事に想う
相手にくらはは
甲斐性見せてやれよ

……っ!



——つたく……
らしくない
酔い方して
くれたもんだ

俺のヘッドで
寝る女はお前が
初めてだぜ？



いや……
本当は相当
疲れてるん
だよな……

ん……



俺の大事な
相手……か

マスターも
酷な事言うぜ……

大事だからこそ
ダメなんじゃ
ねーか……

……ダメ……？

ダメで……
何がダメなの……？



私は……
貴方の事……



ランディ……
私は……
ダメ……なの……？



——
解ってる



ウイスキーの香りと
唇に感じる感触……



夢だとしても……
凄く心地良い……







ま…
まさか…!?

ぼん



…ちよつと
女として寂し
かっただけ

……あ



はあ……

あの…
大丈夫？

いえ…平気よ
ありがとう

「お嬢様さま
お大事にしてください」

ガッ

ランディの
部屋よ

ミレイユさんが
酔いつぶれて
しまったから
連れてきたそうよ

エレイさん…!
じゃあ…ここは
ひよつとして…



え………？

口紅が
取れてるわ



さて…帰るわね
ランディに
有り難うって
伝えておいて



ええ…でも
その前にお化粧を
直した方がいいわ

え？



…まさか
あれって…



ああ……
ごめんなさい
ピククリさせて

あ……あの
ミレイユ……
さん……?



……よし!!

!!?

ウウウ



脈が無い訳じゃ
ないなら
頑張らないと!
……て思ってたね



それにしても……
エレイさん……
雰囲気
変わったわね

何かあった?

えっ!!?

何ぞ!何ぞ!
無さでめい!!

ランティとエレイ
さん間で
なんで解るの
!!?

LoveLoveLove

THE LEGEND OF HEROES / AEN NO KISEKI II & AO NO KISEKI
© 2011 Kurumi Moresaki ***** 2011 Summer

